

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：八幡市

プロジェクト名	スマートウェルネスシティ推進プロジェクト ～「健康」のまち やわた～		実施期間	平成28年度～ 平成30年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康寿命を延伸すること」を個人・社会が意識することが重要。 ・高齢者の1人世帯が増加している。 ・急激な高齢化による介護及び後期高齢者関連経費が増加傾向にある。 ・社会環境やライフスタイルの変化による生活習慣病の増加や、高齢化に伴う市民の健康に対する関心が高まっている。 ・「健康」で「幸せ」を感じられるまちにするため、人々が集える場所や習慣を確保する必要がある。 							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・健康フェスタや健康マイレージ事業により、市民と協働しながら、高齢者等が健康で元気に暮らせるまちづくりに寄与する。 ・高齢者が主体となって健康づくりに励み、長寿を謳歌できるまちづくりを目指す。 ・「健康」で「幸せ」を感じられるまちにするため、人々が集える場所、コミュニティ施設を整備する。 ・高齢者が引きこもりにならないよう対策を実施する。 							
	総事業費（千円）	36,576	本年度事業費（千円）	23,116	交付金額（千円）	5,795		
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	市民スポーツ施設・都市公園等管理費	交付対象事業	健康的生活を支える公園の利用促進のため老朽化したベンチの更新を実施する。		ベンチ更新 18基			
	八寿園管理運営費	交付対象事業	高齢者が元気に地域で暮らし続けられる環境（八寿園）確保のための事業を委託する。		利用者数 24,772人			
	交通安全施設整備費（歩道改良バリアフリー工事）	交付対象事業	地域住民の安全を確保するため、歩道改良バリアフリー工事を行う。		歩車道境界B.L設置工 26.2m、街渠版設置工 1式 舗装工(歩道部) 64㎡ 舗装工(車道部) 8㎡			
住民 協働 事業	健康フェスタ等事業費（健幸マルシェ）	交付対象事業	健康管理意識の啓発と情報提供、体験等の場として健幸マルシェを実施する。		参加人数 300人			
	交通安全対策事業費	交付対象事業	高齢者による事故を未然に防ぐため、免許自主返納の促進等の事業を実施する。		申請件数 173件			
	交通安全施設整備費（ゾーン30設定）	交付対象事業	地域住民の安全を確保するため、一定の区域内の最高速度を時速30キロメートルに規制する「ゾーン30」を設定する。		ゾーン30整備面積 57ha			
	スマートウェルネスシティ推進事業費	関連事業	地域別の健康課題を解決するため、健幸クラウドシステムを使用し、医療の状況等の分析を行う。		健幸クラウドシステム管理運用			
	健康フェスタ等事業費（健康フェスタ）	関連事業	健康管理意識の啓発と情報提供、体験等の場として健康フェスタを実施する。		参加人数 2,200人			
住民が 取り組む 事業	やわたヘルスプロモーション推進事業費	関連事業	健康無関心層に健康づくりについてアプローチをする「健幸アンバサダー」を養成する。		養成人数 58人			
成果	成果指標の目標数値	健康フェスタ参加者 2,500人		成果指標の実績値 (31年4月1日時点)	2,200人			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：八幡市

果 指 標 ①	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	目標数値の2,500人に届かなかったが、前年度より増となり、情報提供、体験等の場を設けることで、健康管理意識の啓発を促すことができた。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成 果 指 標 ②	成果指標の目標数値	公園ベンチ更新 20基		成果指標の実績値 (30年4月1日時点)	18基	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標数値の20基には届かなかったが、同数程度の公園ベンチを更新することができた。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>市民が健康で幸せになれるまちづくりを目指した「やわたスマートウェルネスシティ計画」に基づき、ウォーキングの推進や健幸アンバサダーの要請、健幸マルシェの開催に取り組み、市民の健康寿命の延伸を目指し、生涯住み続けたいと思えるようなまちづくりに寄与し、人々がいつまでも「健康」で「幸せ」を感じ、いきいきと輝きつづけるまちづくりを進めることができた。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>					
本プロジェクトに 対する自己評価	関連事業との連携効果	健幸アンバサダーを養成することで、健康無関心層の健康に対する意識や関心を高めることに寄与した。				
	府と市町村等との連携に資する成果					
	住民の自治意識を高める成果	健幸クラウドシステムにより、どの地域でどのような医療を受けた人が多いかを分析し、ピンポイントで効果的な事業を行う健幸マルシェを実施する事で、健康づくりの努力と成果を「見える化」し、運動継続意欲に繋がった。				
	リーディング・モデル成果	ゾーン30の整備は、歩行者等の安全な通行を確保するリーディングモデルである。				
	広域的波及成果					
	行財政改革に資する成果					
	その他の成果	公園のリニューアルにより、高齢者が自宅や地域で暮らし続けられる環境を整備や健康づくりの動機付けができた。				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：八幡市

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。